

第10回王寺駅周辺再整備推進会議を開催しました（令和5年5月19日）

王寺町では平成30年5月に策定した「王寺駅周辺地区まちづくり基本構想」に基づき、第8回より、民間活力を活かした拠点機能の集約・向上を目指し、駅南エリアについて検討を進めています。

令和5年5月19日に第10回王寺駅周辺再整備推進会議を開催しました。

テーマ | 駅前広場整備の方向性について

事務局より、駅前広場整備の考え方に関するイメージ案を提示しました。検討案を基に課題を挙げ、駅前広場を具体化する為の方向性について参加者に意見を求めました。

主な意見

<駅前広場整備の方向性について>

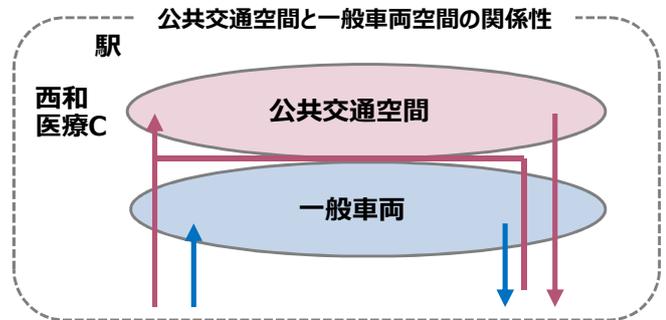
- ・ 駅前に入ってきた自家用車が小回りできるような道を設けると良いと思う。
- ・ 商業施設の搬入口を考慮した、横断歩道の配置にして欲しい。
- ・ ル・カーラ内には医療機関や24時間営業のコンビニも入っている為、救急車両の停まれるスペース、搬入における十分な道幅の確保が必要だと思う。
- ・ 現段階から商業施設用の荷捌き場を考えておいた方が良いと思う。
- ・ 輻輳箇所をできるだけ減らし、車から降りた方が安全な歩道、もしくはデッキを使って商業施設やターミナルの方に行けるような動線を確保して欲しい。
- ・ 過去に駅前広場で起きた交通事故等を参考にするのも良いと思う。
- ・ 駅を自転車で利用する方がかなり多いと思うので、自転車のルートも考慮しておく必要があると思う。
- ・ 一般車両用の一時駐車スペースを設けても、送迎用以外の車が停まってしまうと入りきらなくなってしまうので、ソフト面の対策も考えておく必要があると感じた。
- ・ 駅前広場を出た後の動線等、広域的な範囲で見ておくことが必要。

<今後の調査実施内容について>

- ・ 大型車の搬出入や物流の状況を確認しておきたい。6時～22時等で撮影して、その中の必要なデータを抽出したら良いかと思う。

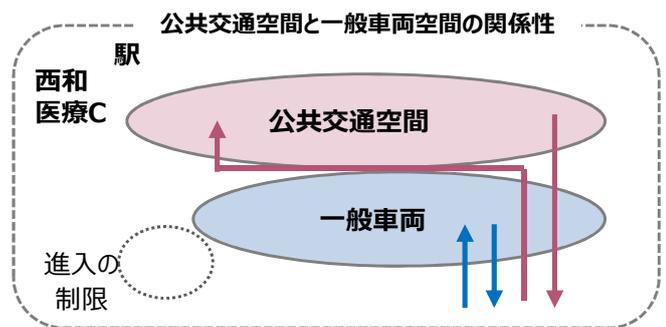
検討案① 現状の駅前広場進入路を活かした場合

駅前広場への進入路を活かしつつ、交錯箇所を削減するために、公共交通空間と一般車両空間を分離



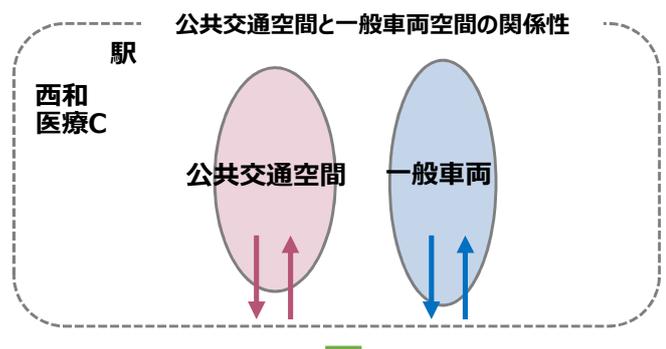
検討案② 西側の進入路を制限した場合

検討案①を基に、西側進入路の使用を制限し歩行者動線の道路横断箇所を削減



検討案③ 駅前広場進入路によって車両を制限した場合

駅前広場への進入路を、公共交通と一般車両それぞれ制限し、公共交通空間と一般車両空間を分離



今よりよくなること

・歩行者動線と車両動線の分離により安全性が向上する

・バス、タクシーの待合環境を整備することで駅前広場の快適性が向上する

・デッキを周辺の商業施設へ接続することで、歩行者の回遊性が向上する